

「江戸川、中川・綾瀬川流域治水協議会」に参画

～「正委員」として承認。「そんぽデジタル・マイ・タイムライン」の活用をアピール～

日本損害保険協会関東支部（委員長：東京海上日動火災保険株式会社 服部たか穂 関東エリアサービス部・ディパートメントヘッド）は、国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所が所管する江戸川、中川・綾瀬川の両流域治水協議会に「正委員」として参画します。

参画にあたっては、これまでの間、2024 年 8 月に越谷市で開催された「流域治水シンポジウム 2024」への出展や、同年 11 月の埼玉損保会での江戸川河川事務所長による講演など、同事務所と関係を構築する中で、当協会において、防災・減災に向けた取組みを積極的に推進していることについて理解を得てきましたが、本年 5 月 30 日に開催された同協議会において規約改訂が行われ、関東支部の「正委員（構成員）」としての参加について正式に承認されました。

また、同日の協議会での承認後、席上（リモート参加）で、当協会における各種防災啓発の取組みを説明する機会が得られ、関東支部から、国や自治体と連携した防災啓発や「ぼうさい探検隊」、「動画で学ぼう！ハザードマップ」や「そんぽ防災Web」等の各種啓発ツールの紹介を行う中で、特に本年 3 月にリリースされた「そんぽデジタル・マイ・タイムライン」の活用についてアピールを行いました。

中川・綾瀬川流域では、2023 年 6 月の大雨（台風 2 号）により甚大な浸水被害が発生したことを受けて、国、県、流域の 6 市 1 町が連携して早期に浸水被害の大幅な軽減を図るため、「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」が始動しており、「流域治水」について多くの方に知ってもらい、行政や民間企業・団体が連携して、流域治水の『自分事化』を考えることを目的に各種の取組みが進められています。

これを踏まえ、当協会に対しては、各種啓発ツールの活用によるハザードマップの更なる周知やリスク啓発、被災後の経済的復旧の一助となる水災補償の必要性などを行うことにより、ソフト面での活動の幅が広がることを期待されています。

当支部では、本協議会への参画を通じて行政機関や江戸川河川事務所との連携を強化し、地域のリスク認識と防災意識の向上ならびに水災補償の理解促進と普及向上に向けて鋭意取り組んでいきます。



【江戸川、中川・綾瀬川流域治水協議会の様子】

【「そんぽデジタル・マイ・タイムライン」の説明資料】

（ご参考）江戸川、中川・綾瀬川 流域治水ポータルサイト⇒ [江戸川・中川・綾瀬川 流域治水ポータルサイト](https://sonpo-bosai.jp/sonpo_digital_my_timeline/)
そんぽデジタル・マイ・タイムライン URL⇒ https://sonpo-bosai.jp/sonpo_digital_my_timeline/